



令和7年9月18日 木
会期中無休 11月19日 水

文化勲章の系譜

平山郁夫から田淵俊夫へ

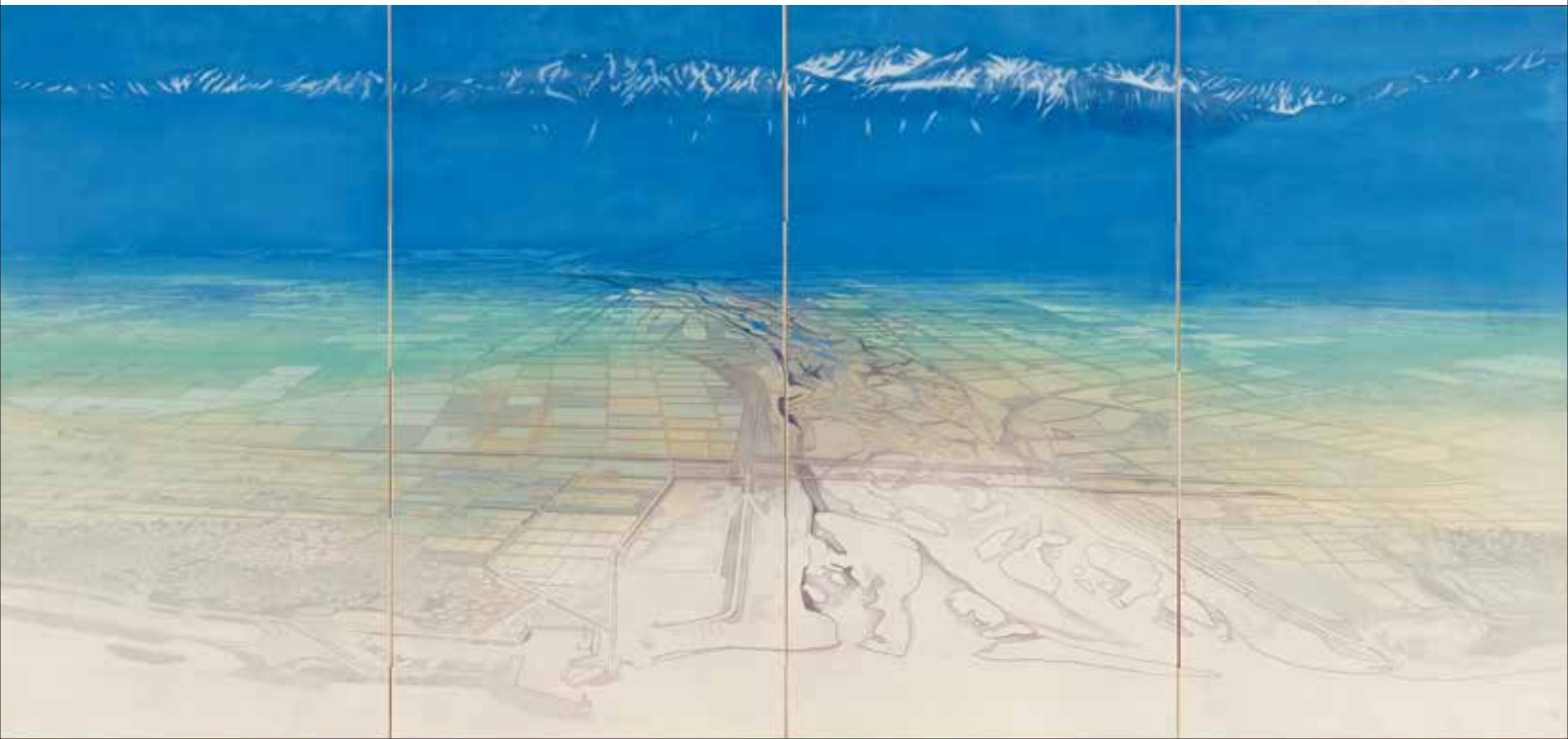
線が結ぶ二人の画家

【開館時間】 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【入館料】 一般1,000円、大高生500円、中小生300円
（10名以上の団体は一般：900円、大高生400円、中小生200円）
【主催】 公益財団法人平山郁夫美術館
【後援】 広島県、広島県教育委員会、
公益財団法人ひろしま文化振興財団、尾道市、
尾道市教育委員会、中国新聞備後本社、
尾道エフエム放送、株式会社エフエムふくやま
【特別協力】 今治市大三島美術館、田淵俊夫、ギャラリー長谷川

平山郁夫美術館

HIRAYAMA IKUO MUSEUM OF ART
〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢200-2
TEL. 0845-27-3800 <https://hirayama-museum.or.jp/>

〈上〉平山郁夫「八雲立つ 出雲路古代幻想」1998年 再興第83回院展
〈下〉田淵俊夫「大地」1998年 再興第83回院展





平山郁夫「寒楽の幾望(大下図)」1987年



平山郁夫「アフガニスタンの少女」1974年 第29回春の院展

文化勲章は科学技術や芸術などの文化の発展や向上にめざましい功績を挙げた者に授与される勲章です。平山郁夫は平成10(1998)年に、田淵俊夫は令和6(2024)年に、文化勲章を受章しました。

この二人は、田淵俊夫が平山郁夫を師と仰いだことから師弟関係にあると言えますが、ともに画家として属し理事長となった日本美術院においては「教師なし先輩あり。教習なし研究あり。」の精神を同じくする先輩後輩の関係と言えます。

本展では、大下図の展示や田淵俊夫のインタビューも交えながら、二人の画家の線の捉え方などを紹介することで作風の相違点を探ります。そして、文化の発展や向上につながる継承と創造の系譜を見つめます。



平山郁夫「敦徳A」1980年



平山郁夫「南蛮船C」1958年



田淵俊夫「清晨」1980年



田淵俊夫「収穫の詩」1992年



田淵俊夫「やまはぜの頃」1974年 第29回春の院展



田淵俊夫「明日香心象 橘寺遠望(大下図)」1991年

